

寛永行幸四百年祭開催記念 関連資料紹介コーナー

寛永時代の京都

令和8年9月12日(土)～令和8年12月8日(火)

寛永行幸四百年祭開催を記念して、資料紹介コーナー「寛永時代の京都」を設置します。
寛永時代の京都に関する資料を集めました。ぜひお手に取ってお読みください。
また、令和8年9月12日(土)～11月8日(日)に京都学・歴彩館1階展示室で開催される、「洛外の寛永行幸 家光の淀、尾張・紀伊藩の伏見」にも足を運んでいただけますと幸いです。

関連資料紹介

No.	タイトル	編著者 発行者	出版年	請求記号 資料ID
1	二条城行幸図屏風の世界：天皇と将軍華麗なるパレード	泉屋博古館編 サビア、論創社（発売）	2014	K13 721.2 Se72 110991521
2	京都かがみ	濱崎加奈子著 エムディエヌコーポレーション、インプレス(発売)	2021	K1 709.162 H26 118025813
3	寛永文化の研究	熊倉功夫著 吉川弘文館	1988	210.52 Ku33 118035302
4	京都二条城と寛永文化	Living History in 京都・二条城協議会編 青幻舎	2022	K1 702.15 L75 118029360
5	光悦と寛永文化	源豊宗、有馬頼底編集解説 大本山相國寺承天閣美術館	1986	702.15 H84 118031190
6	東福門院：寛永文化創造の後楯（日本を創った人びと；17）	武田恒夫著 平凡社	1980	Y 281.08 033553 110645863
7	小堀遠州とその周辺：寛永文化を演出したテクノクラート：特別展	市立長浜城歴史博物館編集 市立長浜城歴史博物館	1997	210.52 Ko14 110986896
8	寛永文化のネットワーク：『隔莫記』の世界	岡佳子、岩間香編集 思文閣出版	1998	K1 210.52 Ka52 110580769
9	寛永の雅：江戸の宮廷文化と遠州・仁清・探幽	サントリー美術館編集；マーサ・マクリントク英訳 サントリー美術館	2018	702.15 Sa67 118004561
10	隔莫記の世界：鹿苑寺と鳳林承章, 上	明永恭典著 明永恭典	2010	188.82 A36 1 110968583
11	隔莫記の世界：鹿苑寺と鳳林承章, 下	明永恭典著 明永恭典	2012	188.82 A36 2 110978390
12	京都風俗画展：寛永から幕末まで	浮世絵太田記念美術館編；田中日佐夫監修 浮世絵太田記念美術館	1993	K1 721.8 O83 110904070
13	尾張・徳川義直と紀州・徳川頼宣の伏見滞在：慶長から寛永にかけて	若林正博〔著〕 [京都府立京都学・歴彩館]	[2024]	K17 216.205 W17 118034372
14	二条城二の丸御殿障壁画ガイドブック, 増補・改訂版	元離宮二条城事務所編 元離宮二条城事務所	2021	K13 521.823 Ky6 118022901
15	二条城展：江戸東京博物館開館20周年記念	東京都江戸東京博物館、元離宮二条城事務所、読売新聞社、博報堂DYメディアパートナーズ編 [東京都江戸東京博物館]	c2012	K13 521.823 N73 110979779
16	後水尾天皇：千年の坂も踏みわけて（ミネルヴァ日本評伝選）	久保貴子著 ミネルヴァ書房	2008	210.52 G62 110954567
17	後水尾天皇実録, 第1巻, 影印（天皇皇族実録；103）	藤井譲治、吉岡真之監修・解説 ゆまに書房	2005	288.41 Te37 103 110971997
18	寛永の華：後水尾帝と東福門院和子（霞会館資料；第20輯）	霞会館編 霞会館	1996	288.41 G62-K 110492492
19	桂離宮の建築：昭和・平成の大修復全記録	佐藤理著 木耳社	1999	K162 521.825 Sa85 110903742
20	桂離宮に学ぶ敷石と飛石の極意	豊蔵均著 講談社	2018	629.61 To86 118009588
21	美術でよみとく京都の庭園	布施英利著 エクスナレッジ	2024	K1 629.21 F96 118035790

22	上方能楽史の研究（研究叢書；331）	宮本圭造著 和泉書院	2005	773.2 Mi77 110940899
23	喜多流の成立と展開	表章著 平凡社	1994	773.8 O63 110532315
24	観世流史参究	表章著 檜書店	2008	773.2 O63 110958031
25	能楽金剛流の歴史と四季の能	金剛龍謹著 淡交社	2024	K1 773.8 Ko74 118039852
26	曼殊院, 新版（古寺巡礼京都；10） 村井康彦「寛永文化の花 専好立花図の世界」pp.106-112	半田孝淳、赤瀬川原平著；梅原猛監修 淡交社	2007	K1 185.916 Ko39 10 110958507
27	いけ花の歴史	小林善帆〔著〕 吉川弘文館	2025	793.2 Ko12 118038574
28	茶道の歴史（茶道学大系；2）	谷端昭夫編 淡交社	1999	791.08 C31 2 110911942
29	茶と花と能：サロンの風流と芸能	熊倉功夫編著者代表 講談社	1982	Y 702 032905 110659313
30	公家茶道の研究	谷端昭夫著 思文閣出版	2005	791.2 Ta87 110942187
31	茶人と茶の湯の研究	熊倉功夫編 思文閣出版	2003	791.2 Ku33 110933052
32	元伯宗旦（裏千家今日庵歴代；第3巻） 笠谷和比古「宗旦とその時代 徳川幕藩体制と寛永文化サロン」pp.4-8	淡交社	2008	K1 791.2 Se56 3 110956589
33	江戸時代の図書流通（仏教大学鷹陵文化 叢書；7）	長友千代治著 仏教大学通信教育部：思文閣出版(発売)	2002	K1 024.1 N24 110912187
34	近世京焼の研究	岡佳子著 思文閣出版	2011	K1 751.1 O36 110972938
35	香の本, 第3版	荻須昭大著 雄山閣	2024	792 O25 118040475

『寛永行幸記』

後水尾天皇の二条城御幸の記録。原本は臨濟宗の学僧以心崇伝によって著された。以心崇伝は京都の人で、徳川家康の側近。僧録司となり、公家・武家・諸寺諸宗の法度の制定に関わり、「黒衣の宰相」と呼ばれた。諡名、円照本光国師。著作として『異国日記』『本光国師日記』などがある。現存する写本も多いが、本書は古活字本。古活字本とは、文禄年間(1592～1596)から慶安年間(1648～1652)に刊行された活字本のことである。江戸末期に刊行された活字本と区別して、そのようにいわれる。

(解説・画像は京都府立京都学・歴彩館歴史資料アーカイブより)

